

償却資産申告書の書き方（記入例）

個人番号又は法人番号（マイナンバー）
13桁のマイナンバー（個人の場合は12桁※左側を1マス空ける）を記入してください。

事業種目、資本金額、この申告に回答する者の係及び氏名・連絡先などを記入ください。
この申告の作成を税理士に依頼されている場合はその方の氏名（法人名）・連絡先をご記入ください。

該当する方を○で囲んでください。短縮耐用年数の承認や増加償却の届出をされた方は、その写しを添付ください。

資産の所在地
事業所や資産の所在地を記入ください。住所と同じ場合は、「住所と同じ」と記入ください。所在地が複数ある場合はそれぞれ所在地を記入ください。

借用資産
借用資産の有無について該当するものを○で囲んでください。借用資産がある場合は、その貸主（リース会社など）の名称等を記入下さい。

事業所家屋所有区分
事業所家屋の所有区分に該当するものを○で囲んでください。

備考（申告内容）
資産の異動について、該当するものを○で囲んでください。前年中に所有者住所・氏名等に異動があった場合は、異動年月日、旧住所など参考となる事項を記入ください。その他、法人成、事業継承など特記すべき事項があれば詳細に記入ください。

令和〇〇年〇月〇日 令和〇〇年度 柳川市長 償却資産申告書（償却資産課税合帳）

※所有者コード 記入不要

1 住所 〔法人の場合〕 住所は本店所在地を記入ください。氏名には会社名と代表者名、ふりがな、電話番号を記入ください。 〔個人の場合〕 所有者の住所・氏名を記入ください。屋号についてもご記入ください。	2 氏名 〔法人の場合〕 代表取締役 柳川 太郎 （屋号 カフェ〇〇〇〇）	3 個人番号又は法人番号 △△△△△△△△△△△△△△△△	4 事業種目 （資本金等の額） 飲食業 （10 百万円）	5 事業開始年月 平成17年 3月	6 この申告に回答する者の係及び氏名 柳川 花子 （電話 0944-73-△△△△）	7 税理士等の氏名 本町 次郎 （電話 0944-77-△△△△）	8 短縮耐用年数の承認 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	9 増加償却の届出 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	10 非課税該当資産 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	11 課税標準の特例 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	12 特別償却又は圧縮記帳 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	13 税務会計上の償却方法 定率法 <input type="radio"/> 定額法 <input checked="" type="radio"/>	14 青色申告 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
--	--	----------------------------------	---------------------------------------	----------------------	--	---	---	---	--	--	---	---	---

資産の種類	取得価額			
	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)	計((イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)
1 構築物	7,500,000		7,500,000	7,500,000
2 機械及び装置			125,050	125,050
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬用具				
6 工具、器具及び備品	1,600,750	100,000	150,000	1,650,750
7 合計	9,100,750	100,000	275,050	9,275,800

15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地
① 柳川市本町〇〇番地〇
② 柳川市大和町鷹ノ尾〇〇番地
③ 柳川市三橋町正行〇〇番地

16 借用資産
貸主の名称等
柳川市三橋町〇〇番地 株式会社 ▲▲リース

17 事業所用家屋の所有区分
自己所有 借家

18 備考(申告内容)
1. 資産増減あり 2. 増減なし 3. 該当資産なし
4. 修正申告（修正事由：）
5. 廃業・解散・休業（年 月 日）
6. 移転（年 月・移転先：）
7. 売却（年 月・売却先：）
8. その他

記入不要
ただし、電子計算処理による申告を行う場合は、記入してください。

1住所・2氏名
〔法人の場合〕
住所は本店所在地を記入ください。氏名には会社名と代表者名、ふりがな、電話番号を記入ください。
〔個人の場合〕
所有者の住所・氏名を記入ください。屋号についてもご記入ください。

〔イ〕前年前に取得したものの
前年の1月1日現在（前年申告）で所有していた償却資産について、資産の種類（1～6）ごとにそれぞれ取得価額の合計を記入してください。印字されている場合は金額に誤りがないか確認ください。

〔ロ〕前年中に減少したものの
前年中（前年1月2日～今年1月1日）に減少した償却資産（売却、廃業、市外に移転など）について、資産の種類（1～6）ごとにそれぞれ取得価額の合計を記入してください。

〔ハ〕前年中に取得したものの
前年中（前年1月2日～今年1月1日）に取得した償却資産（新品取得、中古取得、市外から移転受入など）について、資産の種類（1～6）ごとにそれぞれ取得価額の合計を記入してください。

種類別明細書の書き方（記入例）

■増加資産・全資産用

資産の種類
次のとおり記入下さい。
1=構築物
2=機械及び装置
3=船舶
4=航空機
5=車両及び運搬具
6=工具、器具及び備品

資産コード
記入不要、ただし企業が独自付番しているコードを使用する場合は8桁以内で記入下さい。

年号
次の数字でご記入下さい。
1=明治 2=大正 3=昭和
4=平成 5=令和

種類別明細書（増加資産・全資産用）

令和〇〇年度		所有者コード										所有者名				1枚のうち	
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月		取得価額				耐用年数	減価残存率	価額		課税標準額	増加事由	摘要
					年	月	十	百	千	円			十	百			
01	1		駐車場アスファルト舗装	1	4	30	11	3	000	000	10	0.				1・2 3・4	
02	2		太陽光発電設備	1	4	30	10	12	345	678	17	0.				1・2 3・4	
03	6		パソコン	1	4	25	10	123	789	4	0.				1・2 3・4	〇〇支店から移動	
04	6		応接セット	1	3	63	2	150	100	8	0.				1・2 3・4	申告もれ	
小計									15	619	567						

記入不要
ただし、電子計算処理による申告を行う場合は、記入して下さい。

耐用年数
原則として、法人税又は所得税の申告で用いるものと同じ耐用年数を記入して下さい。

増加事由
「1. 新品取得」
「2. 中古取得」
「3. 移動による受入れ」
「4. その他」
の該当するいずれかに〇印を付けてください。

摘要
非課税該当、特例適用、短縮耐用年数適用、増加償却など、その旨を記入下さい。

■減少資産用

種類別明細書（減少資産用）

令和〇〇年度		所有者コード										所有者名				1枚のうち			
行番号	資産の種類	抹消コード	資産の名称等	数量	取得年月		取得価額				耐用年数	中間年度	減少の事由及び区分				摘要		
					年	月	十	百	千	円			1 売却	2 滅失	3 移動	4 その他		1 全部	2 一部
01	1	00000001	外灯	1	4	9	12	250	000	15		1	2	3	4	1	2		
02	5	00000123	フォークリフト	2	4	15	10	2	300	000	6		1	2	3	4	1	2	当初取得価額390万円（数量3）のうち、230万円（数量2）減少
03	6	00000456	看板	1	4	15	10	330	000	6		1	2	3	4	1	2	〇〇市へ移動	
04												1	2	3	4	1	2		
05												1	2	3	4	1	2		
小計									2	880	000								

同封の「償却資産種類別明細書」があればそれを参照して記入して下さい。
なお、資産の一部が減少した場合は、[数量][取得価額]については、減少した値を記入し、[減少の区分]は「2 一部」を〇で囲んで下さい。

摘要
減少の事由が「3 移動」の場合はその受け入れ先を、「4 その他」については、その具体的な自由を記入ください。
減少の区分が「2 一部」の場合は、その詳細を記入ください。
その他必要な事項を適宜ご記入ください。